

行政改革大綱実施計画書

大綱主要項目		健全な財政運営				
具体的な項目		歳入の確保				
実施計画項目		行政資源の有効活用（ふるさと寄附金）				
担当課		秘書広報課		関係課		
No. VI-2-(3)		令和3	4	5	6	7
実施年度	実施計画			○	○	○
	効果又は 数値目標			寄附額 2億円	寄附額 2.5億円	寄附額 3億円
進捗状況	実績			S		
	効果又は 数値実績			寄附額 約6.8億円		
現状と課題						
<p>ふるさと寄附金は、生まれ故郷や本市を応援したい寄附者から、6つの事業を推進するための資金として寄附を募るとともに、本市の認知度向上や「いちご王国栃木の首都もおか」をPRするプロモーション活動の一役を担っている。</p> <p>現状としては、県内14市と比較しても寄附額は低調であることから、寄附額の増に向けて、真岡市の認知度向上と魅力ある返礼品の積極的なPRが課題として挙げられる。</p>						
課題解決に向けた方策						
<p>ふるさと寄附の増額に向けては、全国における本市の認知度向上と、商工会議所等や地元企業・店舗と連携し、魅力ある返礼品を増やす必要がある。</p> <p>また、ふるさと寄附金を申し込めるポータルサイトを導入し寄附者とのタッチポイントを増やすとともに、デジタル広告やSNSを活用し魅力ある返礼品を積極的に周知する。</p>						
具体的な取組内容						
<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月の制度改正の駆込需要で年末の駆込み需要に対応できない自治体が多い中、いちごの返礼品協力事業者を増やした。 ・ふるさとチョイスやふるなびの返礼品を楽天ふるさと納税と同内容に見直した。 ・1件あたりの寄附単価を上げるため、定期便の種類を増やした。 ・ポータルサイト（ふるなび）を追加した。 ・デジタル広告により真岡産のいちごのPR、SNSでは様々な返礼品を紹介した。 						
実績考察（理由、改善すべき点等）						
<p>【令和5年度】</p> <p>通常年末1回の駆込需要のところ、令和5年度は制度改正による駆込需要が重なったこと、その需要に対応できるだけの返礼品数を準備できたことが実績につながった。</p> <p>また、年末の駆込需要の際に、首都圏向けにデジタルマーケティングを駆使した、いちごの認知度向上のためのデジタル広告を配信したことも寄附額の増加の要因と考えられる。</p>						
考察を踏まえての今後の取組方針						
<p>【令和6年度】</p> <p>新たな寄附者を獲得するため、新規のふるさと納税ポータルサイトを導入し、デジタルマーケティングを活用しデジタル広告やSNS、PR動画により、真岡のいちごの認知度向上を図る。</p> <p>また中間事業者と連携して、いちごの季節以外の人気返礼品を開拓するため定期的な情報交換を実施する。</p>						